



梅雨空の下、周りを赤く染める
 南行政区の関根文枝さん宅の庭先にオルビアが咲き乱れていた。昭和六年生まれという文枝さんは今も元気いっぱい。医者知らずだそう、家の周りには草花や果実の木がいっぱいあり、それらを育てるのが楽しみだという。裏手のハウスには葡萄の「藤稔」も栽培しており、すでに友人から予約済みだとか。

運動神経は人一倍優れ、老人会の輪投げやゲートボールでは他を圧するという。兎に角、何でも工夫を重ねて行うのが楽しいと話してくれた。
 ラヴァテラ・オルビアは、アオイ科の落葉樹（垂低木）である。日当たりの良い路傍等に自生する。

コロナワクチン接種の予約状況

5月21日現在

1. 予約状況(先行接種分を除く) 65歳以上対象者 約 40,000人
 総予約数(希望者数) 25,136人 先行接種者 2,000人
 内訳・会場別 はなもも体育館 11,400人 病院 13,736人
2. 追加の実施について
 (1) 今後の接種見込者数や状況に応じ8,000人の枠を増やす予定
 現在、古河市医師会と調整中
 (2) 実施方法
 予約を取ることが出来なかった方へ6月上旬に個別通知予定

古河市健康づくり課・コロナワクチン対策室

ふきの芽

第291号

【発行日】

令和3年

5月25日

【発行者】

八俣ふきの芽会

茨城県古河市

山田 317-3

Tel 090 2234 6965

Fax 0280-78-2429



4年生の「嵐をまきおこせ」で勝利を喜ぶメンバーたち▲



八俣ソーラン59は伝統のダンスだお見事でした▲

笑顔に勝る良薬ナシ
 5月22日、八俣小学校で令和3年度「輝け八俣っ子2021」が開かれた。当日は肌寒い天候であったが、児童の弾ける笑顔がグラウンドいっぱい広がり、コロナ対策で3部に分かれての開催となったが参観の保護者は大満足であった。特筆すべきは6年生全員によるリレー、迫力満点で、観る者を感動させた。また、ダンスの共演もお見事の一言に尽きる出来映えでコロナ疲れを吹き飛ばす一日であった。



あとは任せたよ！ 6年生リレー



資源ゴミ回収協力をお願い

19地区区長会では下記の日程で資源ゴミの回収を行います。収益金については全額八俣小学校に寄付し、児童の健全育成のために役立てられます。

日程 令和3年6月27日(日)午前9時～

事前に各行政区単位で集荷を致します
 当日、各行政区役員さんにより八俣小グラウンドに持ち込みます。各家庭へは回覧板にて周知、連絡致します。

なお、当日は、コロナ対策もよろしくお願いいたします。

回収するもの ダンボール・新聞紙・雑誌
 アルミ缶・スチール缶
 (分別しなくても大丈夫です)

ご協力よろしくお願いいたします
 古河市第19地区・区長会 & 八俣小学校



交通事故撲滅に向けて
 沼影第二行政区では、安心・安全な地域づくりの対策として、過日発生した交通事故を重く受け止め、事故現場の道路イベントを解りやすくすること

交通事故撲滅に向けて

で、事故の再発を防ぐこと古河市と協議の上、外部からの進入車両でも錯覚を起さないよう道路上のラインを引き直した。
 写真上は、5月に引き直したライン。住民の願いをドライバーに喚起したい

クリーンアイ

「米倉」の地名の由来 郷倉は老中、松平定信が寛政二年(今から約二百三十年前)十月に年貢米を分散するために、代官達に通達し各村、又は数カ村に「カ所設けられた倉(蔵)で、中期以降は備荒(凶作に備える)として利用され、貯穀倉をさすようになった。旧三和町では米倉と仁連に設置された記録があり、米倉(こみぐら)の郷倉は当時、郷御倉(こみぐら)と呼ばれており、後に米倉(こみぐら)と変遷したものと考えられる。

この蔵に穀類は凶作は勿論、平年にも救済貸付が行われ記録では天領(幕府の所有)も私領も天明八年から設置されている。

郷倉の位置は惣百姓(小農氏)の意見で決まった。ちなみに仁連町の郷倉の大きさは横三間、縦九間であったことが明記されている。(明細差上帳による)この郷倉は明治の地租改正後に廃止されている。

郷御倉の位置は米倉橋の下流で、その付近に馬洗場があつて穀類を運んで来た馬を洗っていたという。

追記
 当時の農村の姿の一端
 五人組制度
 五人組とは、江戸幕府が強制施行した庶民の隣保組織で、原型は律令制下の五保制度で直接には、豊臣秀吉が治安のために置いた五人組十人組の流れを汲む。村方では惣百姓を単位に原則として五軒一組で組織し相互監察、相互扶助、貢納確保などのため連帯責任制をとった。

江戸時代、農村の五人組は領主が農民を支配するために農民同士で見晴らせたり、共同で責任を取らせたものである。

現在でも日本国内、地域によって隣組とかいう戦時中の遺制町内会制度が残っている所があるかも？

江戸時代の表彰制度
 毎年、幕府が定めた表彰基準に達した者、八千五百人が受彰の対象になっていた。その中で農村部の受彰対象者は主に精農家、つまり年貢を完納した上、他の農家より生産高が高い農家。兄弟愛に優れて、助け合いの強い兄弟。

農村部に於いての受彰理由は主に以上二点であった。

忍田 直哉

いきいき 活弁やまた

竹村先輩ありがとうとごまごまごいきました 怪我をした地域の後輩を小学校まで送り届ける

4月28日朝、通学途中の八俣小2年生(米倉行政区在住)が転んで怪我をして泣いている所に通りかかった高校生(境高校三年生、竹村〇〇君)が気づき、絆創膏を貼って治療し、八俣郵便局近くから、おんぶをして小学校まで届けてくれたそうです。

5月14日に所用で訪れた際、八俣小学校の校長先生が「いやあー感動しました、しかもその高校生が八俣小の卒業生だったので」と話してくれました。

丁度、当日はコロナ対策で行えなかった「一年生を迎える会」が開かれており6年生による心温まる歓迎会が行われている日でした。

強い絆で結ばれているこの地域の小学校に赴任できて大変良かったと話す小神野校長先生。感無量の思いが私にも伝わって、コロナ禍で毎日滅入っている私の心に爽やかな風が吹き抜けていきました。

コロナ禍で寒さ込んでいる地域の皆様にも心温まる爽やかなお話しをお届けします。

八俣小学校 校長室より
今朝の出来事
朝、掃き掃除をしていると、男子児童が若い男性に背負われて登校してきました。

事情を尋ねると「登校途中に転んだらしく道路で泣いていたので、手当をして、心配だったので連れてきました」とのことでした。

聞けば兄弟ではなく、たまたま通りかかった通学途中の境高等学校の3年生だということでした。

高校生にお礼を言い、高校にもすぐに電話で事情を説明し、お礼を言いました。

その後、境高校の校長先生には、「困っている人に対して、自然と手助けが出来る優しさ立ち居振る舞いに感動しました。ありがとうごさいます。」と感謝の気持ちを伝えました。

助けてもらった小学生には「今度は〇〇さんが困っている人に優しくできるといいね」と伝えました。

いつか多くの本校児童が、今朝の高校生のように、困っている人に自然と優しい手を差し伸べられるような青年になったら・・・と思いました。

ちなみに、高校生は八俣小学校の卒業生だそうです。校舎を見て「懐かしいな」と言っていました。

素敵な八俣小学校の先輩の話でした。

八俣小 校長 小神野剛志
八俣小ホームページより転載

コロナ禍にもめげず「令和3年度、古河わくわく舞踊教室」初顔合わせ



5月15日、改善センター玄関前にて開講式を行う

5月15日、古河市三和農村環境改善センターで、「令和3年度古河わくわく舞踊教室」の開講式及び打ち合わせ会が行われた。

当日は古河市によるコロナ対策のため屋内の使用が出来ず、やむなく屋外での開講式となった。本年度の生徒は25人を募集し一年間の活動が開始される。

当日は蒸し暑い中であつたが和服に着替え、古谷先生と講師の皆さんの挨拶や今後の活動についての説明に元気に頷いていた。教室の活動については、今後のコロナの状況に配慮し、皆で知恵を出し合い会場の手配などを工夫しながら日本の伝統文化である舞踊や礼儀作法、和服の着こなしなどを習得する。

なお、本年度は古谷先生の英断により受講料は無料となっている。「わくわく舞踊教室」は市の助成枠を外れ今年から市の施設使用料の減免が受けられなくなつた。このため厳しい運営を強いられるが「精一杯頑張ります」と、指導者の皆さん。

分かんないけど何となくも聞いていって下さい 「一年生を迎える会」八俣小学校



5月14日、八俣小学校で「一年生を迎える会」が開かれた。入学時行われる恒例の行事であつたが、今年はコロナ対策のため6年生と新入生だけで開催日も変えての歓迎会となった。

写真上は6年生に手を引かれ「歓迎会」に向かう新一年生。写真下は整列して先輩の歓迎の辞に耳を傾ける一年生。期待の「八俣っ子」の誕生だ。頑張ろう



もうすっかり学校にも慣れた様子の新入生であるが、在校生を代表した6年生に手を引かれて入場し、6年生代表から「八俣小へようこそ。八俣小には優しいお兄さんやお姉さんがたくさんいます。分からないことは何でも聞いて下さい」と、歓迎の言葉を掛けられました。

県道十七号線沿いに
ポピーの花園出現
山田行政区の県道脇に鮮やかな花色のポピーが咲き乱れ思わず車を止めて見入ってしまいました。
5月16日撮影



地域に誇りと、優しさ、思いやりを！
来年四十周年を迎える茨城三和ライオンズクラブから嬉しいプレゼント

来年、設立四十周年を迎える茨城三和ライオンズクラブ。現在会員数三十九人。

世界にそして地域社会に誇りと思いやりそして優しさを持って奉仕活動を続けております。

犬、猫、殺処分ゼロ運動や青少年の健全育成活動。更にコロナ禍の影響で活動が制限されている現状を鑑み、茨城県盲導犬協会・アイバンク・日本骨髄バンクへは協力金として金一封を贈りました。

そしてコロナ患者を数多く受け入れて下さっている日本赤十字病院に対し、古河ライオンズクラブ・総和ライオンズクラブ・三和ライオンズクラブが合同で患者用大型ベッド5台を寄贈する予定で現在準備中です。(予想以上に高額で、ライオンズクラブ本部からの支援金も含まれます)

さて、そんな中、青少年の健全育成を目的として入学式を控えた地元三和・三和北中・三和東中の生徒にエールを送り元気になって貰おう、そしてその活力を地域の人々にも分けて頂くという事で、それぞれの学校の校訓が入った横断幕を寄贈しました。

地元、三和中学校では「百花繚乱・全員で咲かせ笑顔の花」
・写真下 を作成し寄贈しました。地元の印刷屋さんか気合いを入れて作成した横断幕は素晴らしい仕上がりで、道行く人々にも好評です。

当、クラブでは献血にも力をいれております。メンバーの中には高校生の命を救った骨髄移植ドナーの体験者もおります。



カラーの紙面が見れるQRコードです



色鮮やかな「百花繚乱」の文字がとても綺麗です。5月6日に生徒達により設置されました。▲